

令和元年（2019年）10月25日

熊本県保健環境科学研究所
外部評価委員会を開催します。

熊本県保健環境科学研究所では、県民の安全安心な生活を守るため、専門的で高度な施設及び機器類等を備え、様々な課題の解決に向けた試験検査や調査研究に取り組んでいます。

また、今回開催する外部評価委員会は、当研究所で実施する調査研究の計画や成果について、客観的な立場から総合的な評価を行うための機関として設置しています。

今年度の委員会を下記のとおり開催し、全国的に死亡事例が発生している海洋動物（ふぐや巻貝等）の毒成分を迅速に分析するための手法の開発など、今後実施予定の調査研究について評価していただきます。

記

1 日 時

令和元年（2019年）11月1日（金） 午後1時30分～3時30分

2 場 所

熊本県保健環境科学研究所 2階講堂（宇土市栗崎町1240-1）

3 議 題

*調査研究の項目及び概要は別紙1を御参照ください。

(1)重点研究の評価

(2)一般研究の内部評価の概要（報告）

※重点研究：内部評価会議（県の課長等で構成）の評価を経て、外部評価委員会が評価を行う。

一般研究：内部評価会議が評価を行い、その概要を外部評価委員会に報告する。

4 委 員

別紙2の5名

5 傍聴の定員及び手続き等

(1)定 員

5名

(2)手続き

①傍聴希望者は、委員会の開催予定時刻までに会場で受付のうえ、事務局の指示に従い、会場に入ってください。

②傍聴の手続きは、先着順で行い、定員になり次第終了します。

(3)その他

当委員会については、県ホームページでも御案内しています。

熊本県 保環研 研究評価

検索

【問合せ先】

熊本県保健環境科学研究所 古閑

電話：0964-23-5771（直通）

熊本県保健環境科学研究所 調査研究概要

1 重点研究

(1) 計画評価

研究項目	研究内容
①海洋動物の毒成分の分析に関する研究	海洋動物の毒成分（マリントキシン）による食中毒は、症状が重篤となることが多く、全国的にも死亡事例が発生しており、健康危機管理及び食の安全安心の確保の観点から、本調査研究ではマリントキシンを迅速に分析できる手法の開発に取り組む。

2 一般研究

(1) 計画評価

研究項目	研究内容
①空間統計解析手法を用いた県内の大気汚染物質濃度の推定	PM2.5による大気汚染の状況を正確かつ効率的に監視していくには、県内全域におけるPM2.5質量濃度を把握・推定する必要があるため、全国自治体で初めて、高い精度で空間濃度分布の推定を行う手法の開発に取り組む。
②魚へい死時の魚体中（えら）の農薬分析法の検討	河川等で魚のへい死が発生した際に、原因特定に向け現場の水の分析を行なっているが、採水時には原因物質が流され特定が困難な場合が多いことから、魚体の「えら」部位に物質が残留することに着目し、へい死魚発生の原因究明に向けた新たな分析手法の開発に取り組む。
③熊本県内河川における水生生物相の新規解析方法の開発	県内主要河川において、過去30年にわたり水生生物調査を実施し、県独自の評価手法により水環境の評価を行っているが、これまでの調査データを統計学的手法により解析し現行評価方法の検証を行い、新たな評価方法の開発に取り組む。

■熊本県保健環境科学研究所 外部評価委員会 委員名簿

No.	氏 名	所属・職名	専門分野
1	こじま ともこ 小島 知子	熊本大学大学院 自然科学研究科 准教授	大気環境学
2	とだ けい 戸田 敬	熊本大学大学院 自然科学研究科 教授	分析化学 大気化学
3	まさき たかゆき 正木 孝幸	熊本保健科学大学 保健科学部 教授	微生物学 感染制御学
4	みやはら みちこ 宮原 美智子	NPO法人 温暖化対策センター 顧問	環境 (県民代表)
5	いけだ よういちろう 池田 洋一郎	熊本県八代保健所長	公衆衛生

